

LTE-R 送信機の特長

LTE 通信の採用により、今まで電波が届きにくかった山間部や郊外の検針・保安業務の効率化を図ることができます。また、LTE 通信採用時も既存マルチセンターのサービスは、そのままご利用いただけます。新・料金メニューの検針にも対応しております。

※自社センターへの対応はセンターソフト VerUP が必要です。



新技術により通信の安定性が従来よりアップしました。
また通信コストの削減にお役立ていただけます。

通信地域が拡大

- LTE 通信を採用することで、都市部以外への設置が容易になります。4G の通信可能な範囲であれば、電池で 10 年双方向の運用が可能です。

パケット定額

- LTE 使用料は当社とのご契約により、毎月定額でご利用いただけます。パケット定額で通信費の削減が可能です。また、パケット通信による双方向通信が可能です。

定時刻検針機能

- 下位に特定小電力無線、またはマルチりんどうを接続している場合、設定された時刻に配下全てのメーターの指針を自動的に読み出し記憶します。
- 記憶された後に、LTE での通信を開始することで、センターとの通信時間が短くなります。

ダイバーシティアンテナの採用

- 2 本のアンテナを搭載し、通信の質、信頼性の向上を図っています。同一信号を受信した場合は、電波状態の良いアンテナの信号を採用します。あるいは合成してノイズを除去します。



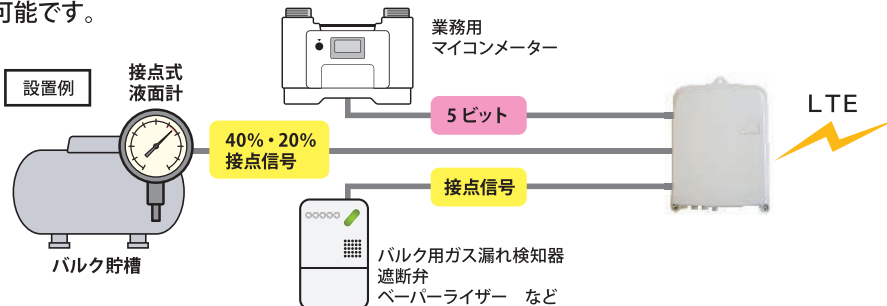
定時刻に全てのメーターの指針を記憶後、通信するため、通信時間を短縮できます。
(子機台数 10 台で約 2 分の短縮)

Replace

複数の機器を同時に監視できる便利な送信機です。

ガスメーター・接点機器の接続が可能です。
接点機器 4 台まで接続が可能です。

①	5ビット or 接点
②	5ビット or 接点
③	接点
④	接点



NEW

多機能で新しい用途に対応できる品質を確保しています。

ロードサーベイ機能

産業用 ガスの「見える化」に

- 各ポートに接続されているメーターが 1 台の場合に利用できます。
- 最大で 840 件のデータを記憶できます。これは、1 時間に 1 回のデータで 35 日分に相当します。

※「産業用の見える化」にご使用の場合は、通信頻度が高くなるため、電源式をおすすめしております。

利用開始確認 通報機能 ※特許登録済



ガス利用状況による「見守り」に

- 設定した時間内にガスが一定以上使用された、又は、使用されなかったかを毎日監視し、通報します。
- 検針値の確認以外に、大流量カウンタ値、長時間カウンタ値等を指定して確認することもできます。

東洋計器の多彩なシステム商品と組み合わせることで、様々な現場、用途にお使いいただけます。

1 特定小電力無線機と組み合わせて 集合住宅に無線方式を導入

無線方式で工事ラクラク！

特定小電力無線と LTE-R を使用することにより配線工事が不要です。

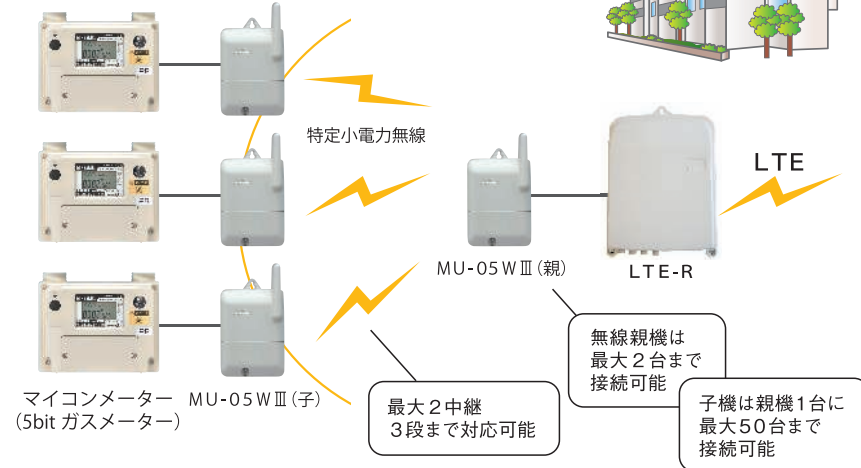
最大 2 中継 3 段無線対応

LTE-R に無線親機を接続。子機は他の子機を中継して親機と通信可能。

●機器のご紹介

特定小電力無線機
MU-05WⅢ

特定小電力無線を使用することで、メーターと送信機の配線を不要にします。●使用周波数/429MHz ●電源/リチウム電池



2 集合住宅アダプタ「マルチりんどう」と組み合わせて 配線方式を採用すれば低コスト

低コストに集中監視を実現

配線可能な集合住宅や業務用施設では集合アダプタ「マルチりんどう」との組み合わせがおすすめです。

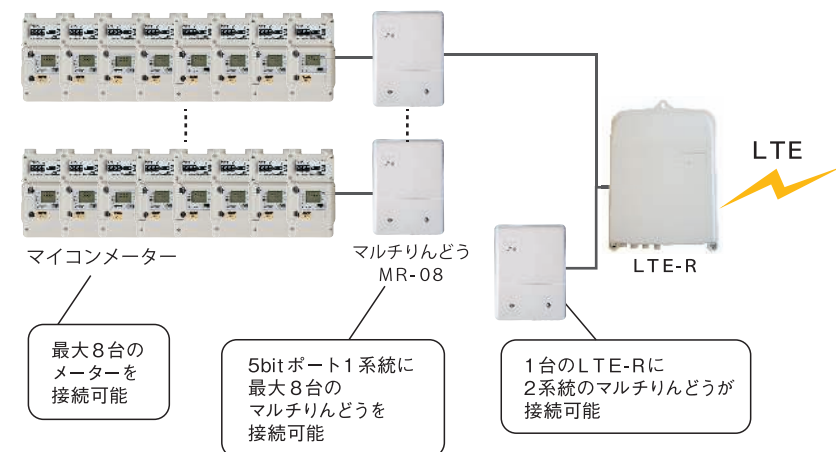
最大 128 台のメーター管理

LTE-R 1 台で、最大 128 台のメーター管理が可能です。

●機器のご紹介

集合住宅アダプタ マルチりんどう
MR-08

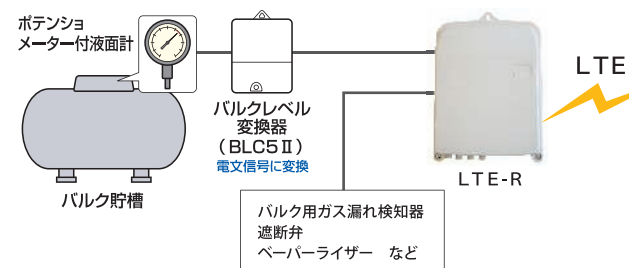
複数のメーターを 1 台の送信機で制御するための中継器です。●最大接続メーター数/8 台



3 バルクレベル変換器などの関連機器と組み合わせて バルク監視に LTE-R を活用

連続信号方式

現在の残量が随時確認できて安心です。



接点方式

残量が 40%、20% になった時に通報が送られてきます。

